



私が24歳の時



国籍	ベトナム
職種	パン製造
実習実施者	株式会社スモト
監理団体	経済流通サービス協同組合

グエン ティ タイン チャン NGUYEN THI THANH TRANG

私はチャンと申します。2018年10月に日本に着きました。初めて日本へ来た時、いろいろびっくりしました。びっくりしたこと2こあります。1こ目は雪です。雪はベトナムにありません。子供の時夢の中で雪を見たことがあります。本物の雪を大人になって見れるとは思っていませんでした。雪は冷たくて、白い、とてもきれいです。2こ目は、交通です。道を歩く人が横断歩道を歩いた後、車にお辞儀をします。これはベトナムにない習慣なので、すごく良いと思います。

現在、私は長野県の松本市に住んでいます。長野県は高い山と松本城が有名で、とても美しい所です。私はこの長野県にあるパン屋で、パン製造作業の仕事をしています。毎日4時に起きて仕事に行きます。冬は時々気温がマイナス8度です。この時私は家族と離れていることが寂しく感じ、ベトナムの家族や友人が恋しくなります。しかしその寂しい気持ちはだんだんなくなりました。なぜなら、毎日自分で作った美味しいパンをお客様に提供することに喜びを感じているからです。お客様からパンを頼ま

れた時は緊張しますが、今では簡単な質問に答えることができるようになりました。お客様に喜んでもらった時は、とても嬉しくて幸せな気持ちになります。

日本に来て、たくさんの友人たちと出会うことができ、友人たちと温泉やスノーボードへ行ったり、花火をしたり、宝くじを買ったり、浴衣を着て出かけたり、たくさんの楽しい経験をしました。しかし、悲しい経験もしました。それは日本に来て1年たった頃、祖父が亡くなってしまいました。私はその時、ベトナムへ祖父に会いに戻ることができませんでした。とても悲しかったが、私は、日本の友人たちに支えられながら「最も強い希望は、絶望から生まれる」と考え、その悲しみを乗り越えることができました。人間の一生には、楽しいことだけではなく、苦しいことも悲しいこともあります。しかし、周りの人たちと手を取り合い希望をもって一生懸命生きていくことが大切だと日本に来て改めて学ぶことができました。ベトナムに帰ってもこの気持ちを大切に、もし私の家族や友人たちが困難にぶつかった時は、日本の友人たちに支えてもらったように、そばに寄りそって支えたいと思います。

日本に来て、私の生活は大きく変わりました。家族がいない場所で、別の言語を勉強し、新しい友人を作りました。日本に来た時は不安もありました。でも、成長するためには自立することが大切だと思います。私はこれからも色々なことにチャレンジしていきたいです。